

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中学校ALT配置事業			会計	款	項目	大事	小事	
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山(教育・文化の充実向上)	01	10	01	04	02	61
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課		指導課			
				主管課長		西村 淳			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内中学校全生徒	意図	言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、聞く、話す、読む、書くという4つの技能をバランスよく育成する。
事業内容	英語を主言語とする外国語指導助手(ALT)を全校に配置する。職務内容としては、中学校における英語指導の補助 英語科学習指導案、及び教材作成補助 英語科教員との指導法に関する協議、研修 特別活動及び課外活動への協力 英語スピーチコンテストへの指導 その他所属長が必要と認める職務など、日常的に外国語に接することができるような環境を整える。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年度までは各中学校へのALT配置を業者との派遣契約で実施してきた。平成23年度からはALT4名を、平成24年度からは8名を市が直接雇用し、各中学校に1名ずつの配置とした。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式(成果指標の場合)
		ALT指導日数	1940	2005	2027	日	
指標で表すことができない定性的な成果	ALTを全校配置することで、ネイティブスピーカーと日常的に接する環境が整い、生徒たちは英語を身近に感じるようになってきている。				目的に対する現状(客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況)		
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度	ALTを全校配置することで、ネイティブスピーカーと日常的に接する環境が整い、生徒たちは英語を身近に感じるようになってきている。また、各学校の計画に従って、年間を通じたチームティーチングを行うことができている。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	40,397,364	41,179,980	41,274,947				
事業費(b)(円)	35,427,564	36,649,080	36,845,027				
うち一般財源	35,427,564	36,649,080	36,845,027				
職員給与費(c)(円)	4,969,800	4,530,900	4,429,920				
人役・職員(人)	0.66	0.66	0.66				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)(建設又は取得年度のみ記入)							
想定耐用年数(年)(建設又は取得年度のみ記入)							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	拡 充 (事業を拡大して継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H29)の改善計画	ALTによる指導をより一層充実させる。	取組の課題	外国人(ALT)と日常的に接する環境は整ったが、小学校の英語教科化に伴いALTの指導力向上を図る研修の実施が望まれる。
今年度(H29)に実施した取組	ALTの指導力向上研修を実施した。	今後(H30以降)の改善計画	ALTの指導力向上を図る。